

平成 26 年 5 月 8 日

福島県 ^{しんちまち} 新地町児童館への支援「第 8 回セブン銀行クリック募金」
寄付金の贈呈について

福島県新地町の児童館を支援する「第 8 回セブン銀行クリック募金」（実施期間：平成 26 年 3 月 1 日（土）～3 月 31 日（月）、31 日間）に、たくさんのお客さまにご参加・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

5 月 2 日（金）に、新地町児童館にて贈呈式を行いましたので、以下寄付金額とともにご報告いたします。

寄付金合計 508,430 円

〔内訳〕

- ① クリック募金（1クリックにつき1円の寄付）・・・245,882 円（245,882 クリック）
 ホームページのクリック募金にご協力いただいたお客さまのクリック数に応じて、セブン銀行が寄付いたします。
- ② セブン銀行口座をお持ちのお客さまよりお預かりした寄付金・・・201,176 円（56 件）

※上記①②の他に、社内設置の自動販売機で従業員が飲料を購入するごとに一定額を CSR 活動等に活かす基金より、61,372 円を寄付しています。



株式会社セブン銀行
 代表取締役会長
 安齋 隆

新地町 町長
 加藤 憲郎 さま

一般財団法人
 児童健全育成推進財団
 事務局長 依田 秀任 さま



この寄付金は、一般財団法人児童健全育成推進財団の復興支援プロジェクトを通じて、全額、新地町児童館の砂場制作の資金として使われました。

【完成した新地町児童館の砂場】



■新地町 町長 加藤憲郎さま コメント

震災から3年がたちました。新地町児童館の広場には津波で被害を受けた人たちの仮設住宅がたち、子どもたちの遊び環境は縮小し、変化しました。子どもたちも大変つらい体験をしました。これで、子どもたちも元気で外で遊べると思います。こうして全国からいっぱいご支援を頂いて、お陰さまで笑顔も戻り元気になっております。子どもたちには元気に育ってほしいと思います。

■一般財団法人 児童健全育成推進財団 事務局長 依田秀任さま コメント

大学時代に「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」という本を読みました。そこには友だちと仲良くすること、物を分け合って使うこと、自分の使ったものは片づけること、皆で協力して1つのものを作ること。砂場にはそういうことが沢山こめられていると書かれていました。子どもたちに砂場で元気よく遊んでいただきたいと思っております。



以上